

## I 第2週の発生動向 (2010/1/11~2010/1/17)

1. インフルエンザについては、前週に引き続き県内すべての保健所管内において**警報**が解除となっています。
2. 感染性胃腸炎については、県全体で増加傾向にあり、医療機関における検査材料からノロウイルスが検出されていることから今後の動向に注意が必要です。

## II 第2週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		保健所名	定点数					
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点		数	定点	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科
小児科 内科 (85) インフルエンザ	38	2.7	34	2.3	36	2.6	12	1.7	17	1.9	4	0.7	141	2.2	-137			38	3.2							
小児科	(74) RSウイルス感染症	6	0.7	15	1.7			5	1.0	3	0.5			29	0.7	8			6	0.8						
	(75) 咽頭結膜熱									1	0.2	4	1.0	5	0.1	-3										
	(76) A群溶血性レンテ球菌咽頭炎	10	1.1	2	0.2	3	0.3	1	0.2	5	0.8	7	1.8	28	0.7	0			10	1.3						
	(77) 感染性胃腸炎	103	11.4	48	5.3	34	3.8	6	1.2	54	9.0	38	9.5	283	6.7	59	12	12.0	91	11.4						
	(78) 水痘	11	1.2	3	0.3	7	0.8	2	0.4	2	0.3			25	0.6	-25	2	2.0	9	1.1						
	(79) 手足口病									1	0.2			1	0.0	-1										
	(80) 伝染性紅斑	4	0.4							5	0.8			9	0.2	0			4	0.5						
	(81) 突発性発疹	1	0.1	2	0.2			2	0.4	3	0.5	2	0.5	10	0.2	-11	1	1.0								
	(82) 百日咳															0										
(83) ヘルパンギーナ															0											
(84) 流行性耳下腺炎	12	1.3	1	0.1	2	0.2	2	0.4	4	0.7			21	0.5	-10			12	1.5							
眼科	(86) 急性出血性結膜炎														0											
	(87) 流行性角結膜炎			1	0.3	1	0.5	1	1.0					3	0.3	1										
基幹	(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	7	7.0							8	1.3	0										

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

### III 表II以外の感染症法対象疾患

(注：届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：青森市1人

(22年計：7人)

### IV 病原体検出情報

※( )内の日付は検体採取日です。

- ・青森地域における脳炎疑い患者の髄液(12/28)から、**単純ヘルペスウイルス1型**が検出されました。
- ・弘前地域における手足口病患者の咽頭ぬぐい液(12/2)から、**コクサッキーウイルスA16型**が、ウイルス性発疹症患者の咽頭ぬぐい液(12/28)から、**エコーウイルス9型**が、急性胃腸炎患者の糞便5検体から、**ノロウイルスG I型**(12/24)及び**ノロウイルスG II型**(12/24、12/26、1/12、1/13)が検出されました。

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

## 感染症の窓

## 性感染症(STD) (月単位五類定点把握疾患：2009年青森県)

表1 性感染症2009年累計(青森県)(人)

	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳								
1~4歳								
5~9歳								
10~14歳								
15~19歳	6	54		5	5	7	1	4
20~24歳	26	77	5	7	3	8	8	7
25~29歳	25	58	4	6	9	7	21	7
30~34歳	23	18	12	7	6	3	10	2
35~39歳	12	15	1		4		12	5
40~44歳	5	8	4		4	1	8	1
45~49歳	2	3	4	4	6		5	1
50~54歳	3		2	1	3	1	6	
55~59歳		2	3	2	1			
60~64歳	1		2					
65~69歳								
70歳以上			1	2				1
2009年合計	102	236	38	36	41	27	71	28
2008年計	122	244	43	46	27	28	91	33
増減数	-20	-8	-5	-10	14	-1	-20	-5

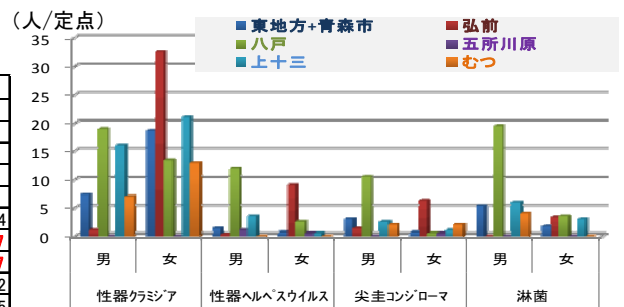


図2 保健所管内別定点当たり届出数(青森県)

表2 性感染症定点病院数(2009年青森県)

保健所	定点病院数
東地方+青森市	3
弘前	3
八戸	2
五所川原	2
上十三	2
むつ	1
合計	13

青森県(2009)の性感染症は、性器クラミジア感染症の届出数が最も多く、前年より増加した疾患は尖圭コンジローマのみでした。年齢分布では疾患により異なりますが概ね15歳から44歳までの年齢層に集中しました(表1)。保健所管内別では、男性では八戸保健所管内が、女性では弘前保健所管内の定点当たり届出数が他の地域に比べ多い傾向にありました。

## V インフルエンザ情報 (注: 届出数は速報値です)

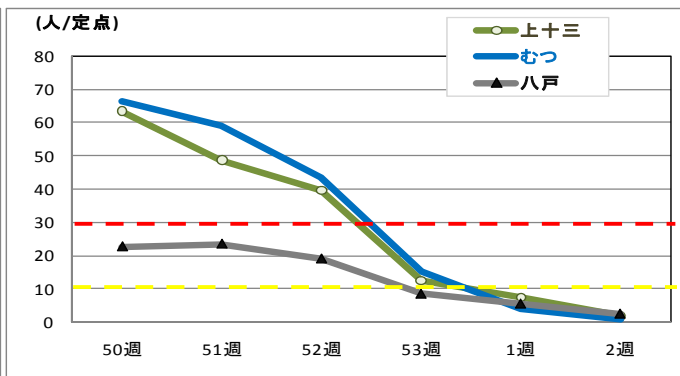
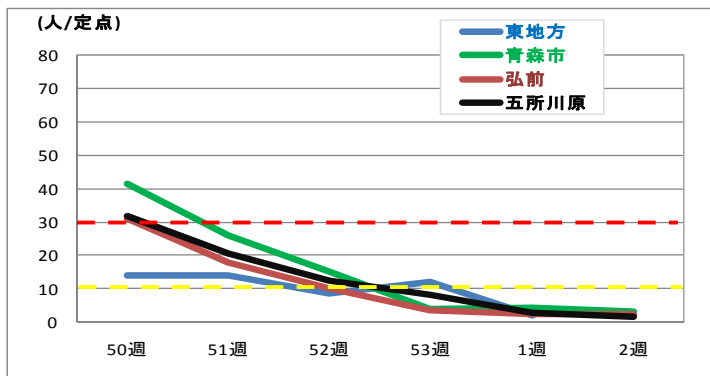
・青森県全体の届出数は141人(137人減少)です。

	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	1週(2010)	2週
東地方+青森市	警報	警報	警報	警報	警報	警報	—	—	—
弘前	警報	警報	警報	警報	警報	警報	—	—	—
八戸	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	—	—	—
五所川原	注意報	警報	警報	警報	警報	警報	—	—	—
上十三	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	—	—
むつ	警報	警報	警報	警報	警報	警報	警報	—	—

V-1 迅速診断キットによる型別は以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	0	34	36	12	17	4	38
A型	0	32	33	12	17	4	33
B型	0	2	0	0	0	0	1
不明	0	0	3	0	0	0	4

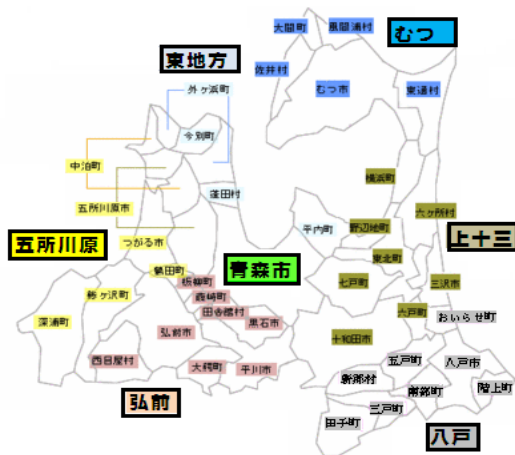
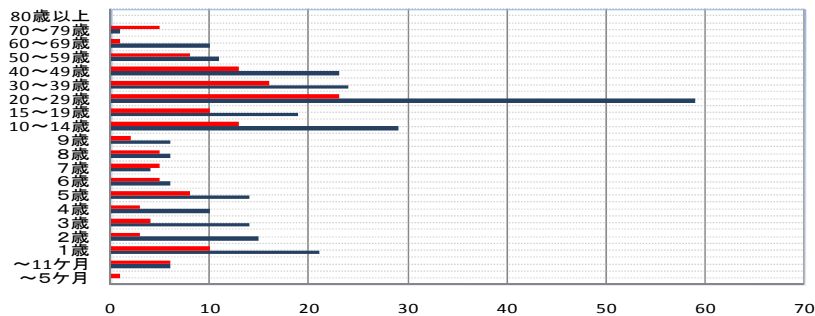
V-2 保健所管内別の定点あたり届出数推移



・警報開始基準値は30人/定点(図赤破線)、終息基準値は10人/定点、注意報開始レベルは10人/定点(図黄色破線)です。

V-3 年齢別構成 (2週比較) 単位: (人)

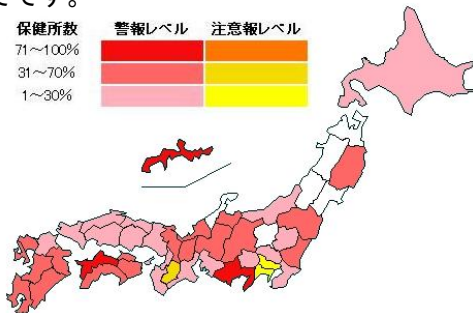
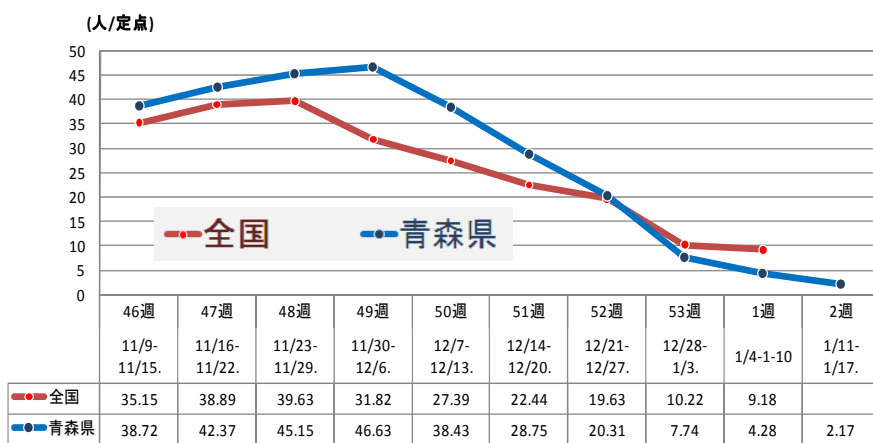
( 青森県保健所管内マップ )



	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上
■ 2週	1	6	10	3	4	3	8	5	5	5	2	13	10	23	16	13	8	1	5	
■ 1週	6	21	15	14	10	14	6	4	6	6	6	29	19	59	24	23	11	10	1	

V-4 全国比較 (2009年46週~2010年2週)

※全国値は1週までです。



### 第1週感染症発生動向調査

図中白い部分(青森県、秋田県、山形県、宮城県、群馬県、石川県)は、警報発令保健所が存在しない都道府県です。